

予算審査特別委員会における各会派の討論

会 派 清 新

第1予算審査特別委員会では、平成28年度滝川市一般会計予算および関連議案23件を以下の理由ですべて可とします。

平成28年度予算は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「財政健全化計画」が策定された後の初めての予算です。市の財政を支えている市税、地方交付税も全体として昨年より減額される厳しい財政運営が予想されます。

歳入については、財源確保のため、交付税と国や道の各補助金などの活用と確保に努力するよう求めました。

歳出では、歳出削減のため仕事への取組や業務の改善を図り事務事業の見直し、また市民や未来を担う子どもたちの安全・安心を守るための健康福祉関連の施策などを要望し、また教育費では学校図書の実を求めました。

第2予算審査特別委員会では、特別会計、企業会計並びに関連議

案3件を可とします。

病院事業会計において、医療収益減の要因は医師の患者に対する不適切な対応問題による患者離れと推察しています。高齢者の集いや子どもを抱える保護者の間でも医師の非常識ともとれる対応が問題視されており、悪い情報が市内に流出している状況と認識します。派遣医師の入れ代わる新年度に向けて、病院長の強い指導力の下に、医師の患者接遇の改善を強く求めます。

公営住宅の指定管理化に向けた新たな取組方針を支持します。新たな住民サービスのあり方とさらなる充実に向けて、実施に至るまでの諸課題の解決への慎重な協議を求めます。

会 派 み ど り

平成28年度一般会計予算および関連議案について、本市の財政指数と財政健全化を示す表は、現状やや健全と思われませんが、財政状況が好転することは厳しいものと

考えます。今後、策定された財政健全化計画を着実に推進していくことを期待し、付託されたすべての議案を可とします。

歳入では、各種補助金やふるさと納税財源の確保の取組、市税等収納率の向上、滞納の解消に努力するよう求めました。歳出では、市民が活躍するまちづくり活性化事業、老人福祉医療の充実、市民の健康を守るため各種健診率の向上、農業の新規就農および担い手支援対策、中心市街地活性化対策、パークゴルフ場の誰もが利用しやすい料金設定の検討、子どものいじめ対策、財政の健全化などを要望しました。

また、第2予算審査特別委員会に付託されました各特別会計および企業会計予算7件並びに関連議案3件についてすべて可とします。各特別会計および企業会計においては、一般会計からの繰入金で収支のバランスを取る形となっており、さらなる健全化に向けての努力を願いたい。

国民健康保険特別会計では、不納欠損、収入未済額のさらなる減少に努められ、基金からの繰り出

しについても十分検討し、安定的な運営を求めます。さらに特定健診の受診率向上に向けPR活動にも配慮願いたい。

病院事業会計では、改革プランを早期に策定し、健全経営を確立することが急務であり、各種改善に向けた対策を講じるよう積極的に取り組んでいただきたい。

新 政 会

平成28年度一般会計予算および関連議案について、人口減少と少子高齢化が進む厳しい環境の中、地方創生および財政健全化を推進しつつ、市民の生活に必要な施策を進めていただくため、特別委員会に付託された予算および関連議案に若干の意見を付して可としました。

歳入では、国や北海道の動向をとらえた交付税・補助金などの確保と財政健全化計画の確実な実行を求めました。

歳出では、本市における冬の観光イベントの一つである紙袋ランターンフェスティバルの充実、防災に関する緊急時の機材および保存食料品などの継続した備蓄、児